

令和7(2025)年度下都賀地区小・中・義務教育学校教頭研修会を開催しました

1 期 日 令和7(2025)年6月3日(火) 13:15~16:20

2 会 場 壬生城址公園ホール

3 参加者 管内公立小・中・義務教育学校教頭

4 目 的 一人一人が参画する「本校ならではの」の教育活動実現に向けた学校経営を実践していく上で、学校長の経営理念を確実に実現させるために教頭としての役割を確認するとともに、当面する諸問題について理解を深め、学校教育のより一層の充実に資する。

5 内容

(1) 開会行事

挨拶 栃木県教育委員会事務局下都賀教育事務所 阿部 信太郎 所長
下都賀地区市町教育委員会連合会教育長部会代表
野木町教育委員会 永井 啓之 教育長

(2) 全体会

ア「令和7(2025)年度学校訪問について」 下都賀教育事務所 学校支援課 指導担当
イ「教職員の服務規律の保持」 下都賀教育事務所 学校支援課長

(3) 研修

ア 趣旨説明

イ 講話

「授業から組織の活性化を考える」～一人一人の子どもが主役となる授業づくりを通して～

講師 栃木県教育委員会事務局 義務教育課 坂口 修 学力向上コーディネーター

ウ 班別協議

テーマ：「一人一人の子どもが主役となる授業づくり」を目指す上での

教頭としての意図的・計画的な働きかけ

参加者振り返りから

- 「『もしも』を『いつも』の中に想定する」ことは危機管理上、リスク軽減に直結する重要な視点であることを再認識した。今後、教職員一人一人の危機管理能力の向上を図るため、校内研修の充実を図りたいと思う。また、管理職として、心理的安全性の高い「風通しの良い職場環境づくり」を行っていきたい。
- 不祥事防止や危機管理に関して、教頭として先の先を読むことの大切さや、どの職員も管理職レベルまで意識や感覚を引き上げる必要があることなど、常に意識して取り組みたい。また、子どもたちが安心して生き生きと学べる学校づくりのために、安全管理、児童指導、学習指導等様々な視点を持ち、小さな変化を見逃さず、周囲と連携を図りながら解決できるようにしたい。
- 一人一人の子どもが主役となる授業づくりに向けて教頭として何ができるか(何をすべきか)について、「自校の課題の再確認と共有」、「(特に若手)教員の育成」、「研修の充実」の3点に力を入れたいと考えた。何が課題なのかを明らかにし、授業参観(普段から授業を見合う)をすることで課題解決に向かう効果的な指導法を学び合い、同僚性を高めながらベクトルをそろえ、若手を含めた全教員が学びを深めて自己の指導力の向上につながるような組織づくりに努めていきたい。

